青々会幹事会･協議員会書面議決に関する報告

標記について、下記の通り、書面にて行った幹事会並びに協議員会の議決結果についてご報告いたします。

例年、前年度の事業報告や決算報告、及び当該年度の事業計画（案）、収支予算（案）については、11 月 3 日に母校にて開催するそれぞれの会議にて審議・決定をしておりますが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、このたび書面による幹事会、協議員会といたしました。11 月 24 日に幹事会、協議員会の構成メンバーから寄せられた回答（議決権行使書）の結果、すべての議案が承認されましたので、ここにご報告をいたします。

なお、事業報告、決算報告、事業計画（案）、収支予算（案）の詳細は、後掲のそれぞれの PDF にてご確認ください。

記

＜令和 3 年度第 1 回幹事会議決結果＞（幹事数　65 名）

【議案】

第 1 号議案　令和 2 年度事業報告・決算報告について

→　賛成　57　　反対　0

第 2 号議案　令和 3 年度事業計画（案）・収支予算（案）について

→　賛成　57　　反対　0

第 3 号議案　青々会賞・組織活性化賞について

→　賛成　57　　反対　0

各議案は過半数の賛成をもって承認されました。

＜令和 3 年度協議員会議決結果＞（協議員数　202 名）

【議案】

第 1 号議案　令和 2 年度事業報告・決算報告について

→　賛成　152　　反対　0

第 2 号議案　令和 3 年度事業計画（案）・収支予算（案）について

→　賛成　152　　反対　0

各議案は過半数の賛成をもって承認されました。

（令和 2 年 12 月 8 日　青々会事務局）

令和２年度事業報告(令和元年 10 月１日～令和２年９月 30 日)

今年度は令和２年２月まで円滑な事業活動が実施出来ましたが３月以降新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため本部、支部の全ての事業を中止した。

令和２年度の各部門の事業につきまして次の通り報告いたします。

1. 青々会ネットワークの取組み

ネットワークの強化を図るため第２回ビジネスネットワークの集いを予定していたが新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため開催できなかった。

2. ホームページの充実

平成 31 年４月 20 日より外部委託でのコンテンツの再構築をし、迅速な情報発信を図った結果、アクセス数が月平均４００件と前年平均より１００件ほど増加した。

今年度の主な発信項目。

１）新型コロナウイルス感染症の拡大防止に関する青々会及び大学の対応情報の迅速な発信。

２）支部総会中止、延期情報の発信。

３）会報 114 号(令和元年 10 月発行)及び 115 号(令和２年４月発行)の掲出。

４）会員(卒業生)の活躍情報の発信。

５）東都大学野球春･秋リーグ戦情報や箱根駅伝予選会ほか大学の情報発信。

3. 会報発行(会則第５条第１号関係事業)

「青々会報」の発行：第 114 号(令和元年 10 月 20 日付、6 万件)、第 115 号(令和 2 年 4 月 20 日付 6 万 1 千件)の 2 回発行し、同件数を発送した。

4. 定例協議員会の開催(会則第１９条関係事業)

令和 2 年度定例協議員会を令和元年 11 月 3 日(祝)12 時 20 分から亜細亜大学 5 号館 512 教室で開催し令和元年度事業報告並びに決算報告、令和 2 年度事業計画(案)並びに収支予算(案)について審議し原案が承認された。

5. 幹事会の開催(会則第２２条関係事業)

令和 2 年度幹事会は令和元年 11 月 3 日の第 1 回開催のみで令和 2 年 3 月、6 月、9 月は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

6. 会議・会合の開催(会則第 5 条第 2 号関係事業)

１）三役会の開催

令和 2 年 7 月 14 日(火)に三役会を開催し、コロナ禍における青々会活動について協議し、以下の内容を決定した。

①３，６，９各月の幹事会開催の中止。

②連合会、支部総会は新型コロナウイルス感染症拡大の現状での開催は中止とする。

③11 月 3 日に開催の幹事会、協議員会、全国連合会長・支部長会議の中止及び大学と共催のホームカミング・デイも中止する。なお興亜神社の例祭は、関係者のみで挙行する予定。

決定事項をホームページに掲載すると共に役員に通知した。

2）大学首脳陣とのコミュニケーションの促進

今年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応で事務局が大学と随時情報交換を行った。

3）「卒業生家族特別推薦枠入試」について

前年同様卒業生子女、弟妹、孫に関する特別推薦枠入試は、経営学部、経済学部、法学部及び都市創造学部で実施された。

7. 興亜神社例祭の挙行

令和元年 11 月 3 日(祝)午後 3 時から、母校キャンパス内に建立された興亜神社において、大学との共催による戦没校友の御霊を祀る興亜神社例祭を挙行した。

8. 第 27 回「ホームカミング・デイ」の開催

令和元年 11 月 3 日（祝）午後 4 時から母校ＡＳＩＡ　ＰＬＡＺＡ４階ホール、並びに 3 階のラーニングコモンズで開催した。会場を体育館からＡＳＩＡ　ＰＬＡＺＡに変更し、1,000 円会費での有料制にして今回で 3 回目となった。有料入場者が 378 名と前 2 回に比べてやや少なめとなったが、今回、昭々寮、日新寮の OB の皆様がホームカミング・デイに併せて交流の場を設け、懐かしい再開の集まりとなったので、今後は各 OB 会にも呼びかけ参加者の増加を図る。

9.「新春の集い」の開催

令和 2 年 1 月 16 日(木)午後 6 時 30 分から、母校ＡＳＩＡ　ＰＬＡＺＡ４階ホールにおいて会費一律 3,000 円で開催した。

担当幹事は昭和 63 年度及び平成 15 年度の卒業生で、参加者には母校の学長、副学長及び学部長そして在学生の学友会執行部、青々会奨学金受給者にも参加を頂き総勢 166 名であった。

例年はプロ野球で活躍のＯＢ選手の参加もあったが今年もスケジュール等の調整がつかず残念ながら不参加であった。

10. 連合会・支部活動への協力(会則５条第５号関係事業)

1）今年度は、令和元年 10 月から令和 2 年 2 月まで 7 連合会 24 支部の総会が開催され本部より総会の案内状発送及び出欠確認をした。当日青々会及び大学(連合会)から参加し、祝電、お祝金の贈呈をした。 同年 3 月以降は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を中止した。

2）海外支部活動への協力

今年度は、上海支部で開催された。業務で上海に出張の青々会副会長関口和代氏に

本部から支部へのお祝金の贈呈をお願いした。

11. 在学生活動の支援

1）青々会奨学金

青々会奨学金については、令和２年 7 月に、大学より選考された 27 名の在学生に 1 人 10 万円の奨学金を授与した。

例年青々会より会長又は副会長が授与式に出席し代表者に授与しているが、今年はコロナウイルス感染症拡大防止のため授与式が中止になり大学より該当者に郵送にて授与された。

2）在学生諸活動の援助

在学生の学友会、県人会連合会、アジア祭、文連祭、クラブ活動、ボランティア活動等に対し補助金の援助を行っているが今年度は令和 2 年 3 月以降、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため大学が閉鎖され活動休止となった。同年 2 月まで活動した 10 団体に補助。

3）青々会賞の授与（令和元年 11 月 3 日協議員会で授与）

※個人への授与は 4 名

◎硬式野球部：内間拓馬、田中幹也、矢野雅哉　◎洋弓部：岸亮輔

※団体への授与は 1 団体

◎探検部

12. 組織活性化

組織活性化については、今年度は 3 月以降新型コロナウイルス感染症拡大による社会、経済活動の自粛及び国による緊急事態宣言等により青々会活動もすべて中止にした。

1）組織活性化賞の授与（前年度活動）

連合会長等の推薦を受け前年度活躍の下記の 5 支部に授与

◎釧根支部（北海道）◎茨城県支部（北関東）◎西多摩支部（東京）◎川崎支部（神奈川県）◎和歌山県支部（近畿）

個人感謝状：角田征士郎氏（前東海連合会長）、安部寅男氏（前千葉県連合会長）
馬場武彦氏（前九州連合会長）

2）連合会長・支部長会議

令和２年度連合会長・支部長会議を令和元年 11 月 3 日（祝）に開催し、新支部長紹介、活性化賞受賞支部挨拶及び支部の活性化に向けての情報交換を行うことができた。

3）青々会スポーツ活動支援奨学金の募集活動

平成 24 年度にスポーツ活動支援奨学金制度発足により、母校の硬式野球部、陸上競技部を支援するため、両部の推薦による優秀な選手に奨学金を給付することにし募金活動を開始した。令和 2 年 9 月 30 日現在 310 名の方より 15,773,500 円のご協力を頂いた。今年度開催した支部総会でパンフレットを配付し協力をお願いした。

なお、令和 2 年度は硬式野球部、陸上競技部からの推薦がなかった。

今年４月より奨学金授与者はありません。

13. 在校生応援活動

１）硬式野球部応援活動　　２）陸上競技部応援活動

硬式野球部は今年春季リーグ中止・秋季リーグは 9 月 22 日により開催。

陸上競技部は箱根駅伝への出場はならなかった。

14. 会員自主活動の協力(会則第５条第４号関係事業)

１）自主活動への協力

各種活動の支援を行った。(会員や支部役員等からの電話相談などの対応)

２）在校生の支援（クラブＯＢ会、ゼミＯＢ会等)

クラブ、ゼミＯＢ会の支援活動として、名簿登録・名簿印字・宛名シール印字支援。(今年度 18 団体に対応)

15. 事務局関係(会則第５条第４号関係事業)

１）大学との連携強化

今年度は 3 月以降新型コロナウイルス感染症拡大による社会、経済活動の自粛及び国による緊急事態宣言等の初めての経験で青々会各支部及び大学の状況把握等情報収集を実施し、本部の対応及び支部、個人会員からの問合せ対応を行った。

また情報発信についてはホームページを活用した。

２）会員の移転先不明者追跡調査

年 2 回の会報や支部総会案内状を送付し戻ってきた会員（宛名不明者）の転居先確認のため、登録されている勤務先や実家へ連絡し移転先確認・調査を実施した。今年度は 1,477 件の電話等での調査を行い、新たに 628 件の住所確認が出来た。

３）新会員 1,636 名(令和元年度卒業者)の住所、勤務先などのデータを入力した。

４）事業実施に伴う経費節減対策を実施した。

予算執行では経費の有効活用と無駄のない執行による経費削減に努めた。

５）令和元年 11 月 3 日開催の幹事会、協議員会、三役会、などの会議資料作成と会議の運営を行った。

６）連合会総会や支部総会、11 月 3 日の各種会議体等に関係する業務を行った。

７）その他

①個人情報保護法に配慮し支部会員名簿の作成・配付

②訪問者への応対（学内案内・接遇など）を行った。

以上

令和２年度　収支決算書

（自令和元年１０月１日～至令和２年９月３０日）

（単位：円）

科　　目	令和２年度 予　算　額	令和２年度 決　算　額	差　　異	摘　　要　（予算説明）
【収入の部】				
会費収入	35,620,000	35,548,000	△ 72,000	
当年度会費	35,170,000	35,170,000	0	令和元年度会費
過年度会費			0	
特定会費	450,000	378,000	△ 72,000	「新春の集い」会費@3000×76・大学協賛金150千円
業務委託料	1,000,000	1,000,000	0	令和元年4月～令和2年3月間の名簿管理委託料
受取利息	100,000	190,943	90,943	基本財産定期受取利息計上予算より増
寄付金収入	0	18,916	18,916	ハワイ在住OB寄付1万円・興亜神社賽銭8,916円
当期収入合計	36,720,000	36,757,859	37,859	
前年度繰越金	27,091,951	27,091,951	0	
収入合計	63,811,951	63,849,810	37,859	
【支出の部】				
人件費	8,350,000	8,264,560	△ 85,440	
給与	7,900,000	7,831,160	△ 68,840	事務局員・パート・アルバイト
通勤手当	450,000	433,400	△ 16,600	通勤定期代
退職金			0	
消耗品費	30,000	11,200	△ 18,800	事務用品
印刷費	250,000	393,170	143,170	2封筒印刷（海外会報用エアメール封筒印刷増）
通信費	400,000	308,695	△ 91,305	連合会・支部総会中止（3月以降） 祝電、問合せ減
交通費	2,300,000	934,385	△ 1,365,615	連合会・支部総会中止（3月以降） 出張なし
賃借費	390,000	230,100	△ 159,900	02年4月でリース期間満了
会報費	11,500,000	11,514,934	14,934	
印刷費	2,600,000	2,471,782	143,152	会報114号（01.10）・115号（02.04）
会報発送費	8,900,000	9,043,152	△ 143,152	会報発送郵税増（６万部・海外12百部×２回）
奨学費	2,700,000	2,700,000	0	今年度は27名×10万（都市創造学部１増）
補助費	1,100,000	860,000	△ 240,000	青々会賞11/3授与・学友会、クラブ補助3月以降活動中止
援助費	9,600,000	5,364,440	△ 4,235,560	連合会、支部総会3月以降中止
支部援助費	8,900,000	5,014,440	△ 3,885,560	01/10～02/02に24支部開催、3月～9月予定の40支部中止
連合会援助費	700,000	350,000	△ 350,000	上記期間に7連合会開催、上記機関予定の9連合会中止
行事費	300,000	268,072	△ 31,928	01.11.3開催興亜神社例祭・生花代・紅白饅頭代
会合費	2,500,000	1,967,602	△ 532,398	
総会費	0		0	2021年開催
会合費	1,500,000	983,934	△ 516,066	新春の集い・三役会・幹事会02/3以降中止
会議費	1,000,000	983,668	△ 16,332	01.11.3開催ホームカミング・デイ大学と経費折半
保守費	1,500,000	1,340,400	△ 159,600	会員紹介動画制作中止、
雑費	160,000	136,730	△ 23,270	振込手数料、慶弔関係他
備品費	40,000	5,850	△ 34,150	事務所用電気ポット購入
当期支出合計	41,120,000	34,300,138	△ 6,819,862	
当期収支差額	△ 4,400,000	2,457,721	6,857,721	
次年度繰越金	22,691,951	29,549,672	6,857,721	

（注記）　１．　予算額に対するの決算額増・減（△）記号。

２．　経理規程第２５条に則り、事業部門の予算を流用することができる。

貸　借　対　照　表

(令和２年９月３０日現在)

借方				貸方			
科　目	本年度末	前年度末	増　減	科　目	本年度末	前年度末	増　減
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	247,387,711	250,378,177	△ 2,990,466	固定負債	93,417,476	96,417,476	△ 3,000,000
備　品	3,679,510	3,679,510	0	前受金	93,417,476	96,417,476	△ 3,000,000
電話加入権	188,984	188,984	0	令2年度卒会費	34,090,000	35,170,000	△ 1,080,000
基本財産引当資産	100,000,000	100,000,000	0	令3年度卒会費	25,095,000	25,685,000	△ 590,000
奨学金引当資産	50,000,000	50,000,000	0	令4年度卒会費	15,185,000	16,800,000	△ 1,615,000
前受金引当資産	93,519,217	96,509,683	△ 2,990,466	令5年度卒会費	7,965,000	7,680,000	285,000
				過年度会費	11,082,476	11,082,476	0
流動資産	31,499,715	29,051,528	2,448,187	流動負債	69,090	69,090	0
現　金	163,466	4,540	158,926	預り金	69,090	69,090	0
預　金	31,336,249	29,046,988	2,289,261	【基本金・剰余金の部】			
				基本金	153,868,494	153,868,494	0
				基本財産基金	100,000,000	100,000,000	0
				奨学基金	50,000,000	50,000,000	0
				一般基金	3,868,494	3,868,494	0
				剰余金	31,532,366	29,074,645	2,457,721
				前年度繰越剰余金	29,074,645	35,320,049	△ 6,245,404
				当年度剰余金減少額	2,457,721	△ 6,245,404	8,703,125
合　計	278,887,426	279,429,705	△ 542,279	合　計	278,887,426	279,429,705	△ 542,279

(注記)　△は、前年度末に対する減記号。

亜細亜大学同窓会　青々会

会　長　落　合　寛　司　殿

謄本

監　査　報　告　書

亜細亜大学同窓会　青々会の令和２年度(令和元年１０月１日から令和２年９月３０日まで)における一般会計並びに特別会計について、監査を行いました。

この監査に当っては、一般の公正妥当と認められる監査基準に準拠し、必要な監査手続きを実施しました。

監査の結果、上記の計算書類は適正に処理されており、本会の収支及び財産の状況を正しく示しているものと認めます。

令和２年１０月23日

会計監査　佐藤健次

会計監査　中川常彦

＜青々会賞の授与＞

１）　個人の部：在学生個人対象

◎平内　龍太（ヘイナイ　リュウタ　経済・４年）硬式野球部

授与理由：最速１５６キロを投げ込むパワーピッチャー。大学１年秋から登板機会を重ね、力で抑えていくスタイルから試合終盤の救援として活躍。令和２年度プロ野球ドラフト会議において読売巨人軍に１位の指名を受けるなど母校の名声を高めた

◎内間　拓馬（ウチマ　タクマ　法学・４年）硬式野球部

授与理由：第４３回日米大学野球選手大会（2019 年 7 月 16 日～29 日：開催地日本）の日本代表選手として出場、活躍し、3 大会ぶり 19 回目の日本チームの優勝に貢献した。令和２年度プロ野球ドラフト会議において楽天イーグルスに指名受けるなど母校の名声を高めた。

◎矢野　雅哉（ヤノ　マサヤ　経営・４年）硬式野球部

授与理由：令和元年度東都大学野球秋季リーグ戦において首位打者(亜大歴代 10 人目の快挙)の活躍をし、勝利に貢献した。また遊撃手ベストナインに選出された。令和２年度プロ野球ドラフト会議において広島東洋カープに指名受けるなど母校の名声を高めた。

２）　団体の部：在学生で構成する団体

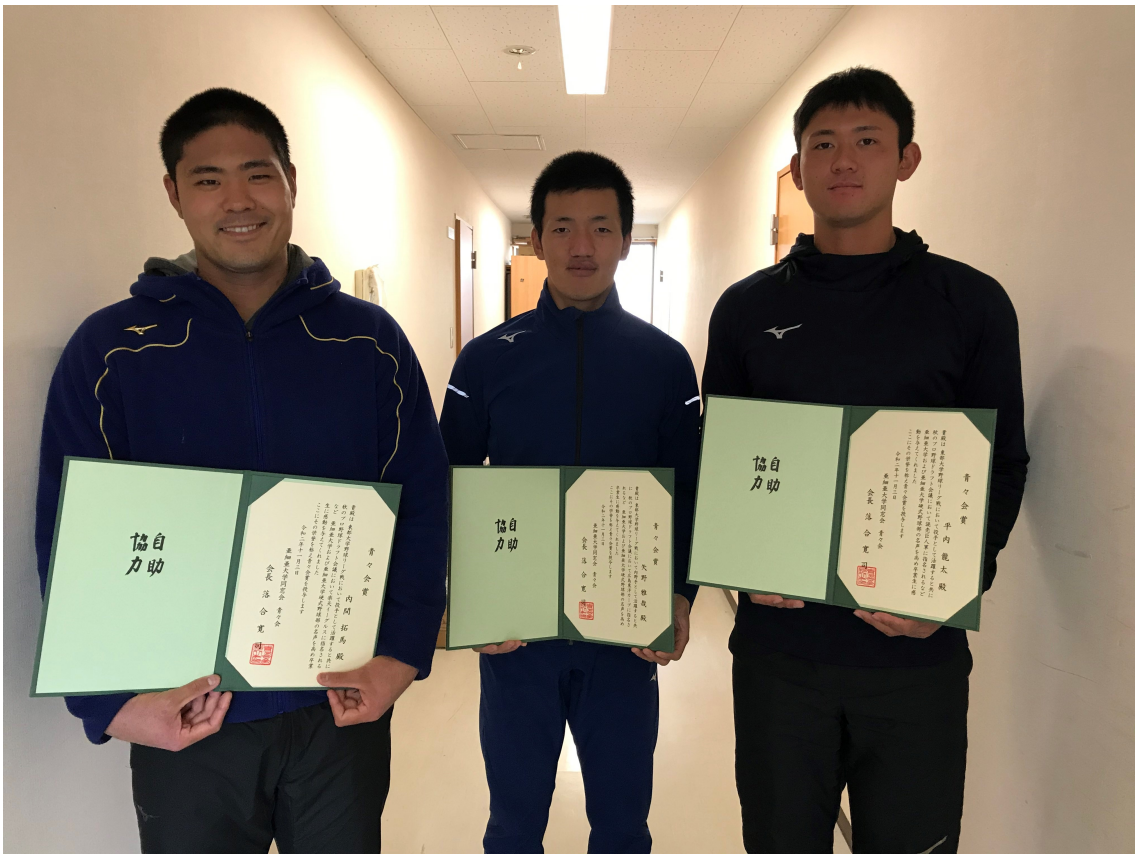
今年度を該当なし

＜組織活性化賞の授与＞

１）組織活性化賞：支部対象

表彰なし

※今年度は新型コロナウイルス感染症拡大防止で令和２年３月以降の青々会支部活動を中止したので表彰を行わない。



写真は青々会賞を受賞した 2020 年ドラフト・トリオ＝左から、内間投手（楽天）、矢野内野手（広島）、平内投手（読売巨人）。

令和３年度事業計画(令和２年10月１日～令和３年９月30日)

令和２年度事業に大きな影響を及ぼした新型コロナウイルス感染症はいまだ終息には至らず感染状況は増加の傾向が続いています。このような社会状況において青々会令和３年度事業もコロナ禍での事業運営の改革を検討すると共に感染防止対策に配慮した慎重な事業活動の推進が求められる。以上の状況を考慮し令和３年度の事業計画(案)を次の通り提案する

〈コロナ禍における本年度事業計画〉

1. 定時総会の開催（会則第１５条関係事業）

定時総会　令和３年６月開催予定。

今年度は新型コロナウイルス感染状況が不透明のため開催時期、方法を変更する可能性があります。令和３年５月以降ホームページに定時総会の開催等について掲出します。

2. 青々会ネットワークの取組み

ネットワークの強化を図るため次の取組みの実施

◎ホームページを活用したビジネスネットワークの構築(事業者紹介、活躍する会員動画の配信)及びコロナ禍における交流の場の企画を検討する。

3. ホームページの充実

コロナ禍における青々会本部、各支部及び大学情報の迅速な配信を行う。

また、新企画として事業者紹介ページ及び活躍する会員の動画(十分な安全対策を講じで)の紹介等ビジネスネットワークに係わるコンテンツの配信の取組みも行う。

4. 会報発行(会則第５条第１号関係事業)

「青々会報」の発行：第116号(令和２年10月10日号)、第117号(令和３年７月20日号)の２回の発行を予定。

会計年度上今年度は２回の発行となる。令和３年以降年１回の発行とするため従来の４月発行を７月発行に変更し、１０月の発行は中止する。令和４年以降は年１回７月に発行する。

5. 定例協議員会の開催(会則第１９条関係事業)

令和２年11月３日に開催の令和３年度協議員会は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため書面議決により開催する。

6. 幹事会の開催予定(会則第２２条関係事業)

令和２年11月３日に開催の令和３年度第１回幹事会も書面議決により開催する。

令和３年３月、６月、９月の開催は新型コロナ感染症の状況により検討する。

7. 会議・会合の開催(会則第５条第２号関係事業)

１）三役会の開催

コロナ関係の新たな状況等及び会長の要請により開催する。

2）大学首脳陣とのコミュニケーションの促進

今年度は新型コロナウイルス感染症防止対応で事務局が大学と随時情報交換を行う。

3）「卒業生家族特別推薦枠入試」について

今年度も卒業生子女、弟妹、孫に関する特別推薦枠入試は、経営学部、経済学部、法学部及び都市創造学部で募集される。

8. 興亜神社例祭の挙行

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため一般の参列を中止し、青々会と大学の関係者で挙行する。

開催日：令和2年11月3日(祝)：午後1時30分～午後2時

場　所：興亜神社境内

9. 第28回「ホームカミング・デイ」の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度の開催を中止する

10.「新春の集い」の開催

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度の開催を中止する。

11. 連合会・支部活動への協力(会則5条第5号関係事業)

1）連合会･支部総会開催協力

新型コロナウイルス感染の状況等を考慮し本部、各支部と協議のうえ開催の有無の判断をする。開催の場合は感染防止に万全の対策を講ずる。

2）海外支部活動への協力

母校国際連携部インターナショナルセンターとの連携・協力を緊密にし、留学卒業生の情報共有により海外支部の支援を図る。

12. 在学生活動の支援

1）青々会奨学金

青々会奨学金については、各学部で優秀な成績を修め、大学から推薦の学生に1人10万円（成績ポイントが同点の場合折半）の奨学金を授与する。各学部2年次以降各年次2名、都市創造学部は2年次以降各年次1名授与予定。今年度も27名に授与する予定。

2）在学生諸活動の援助

在学生が活動を再開したときは要請に応じて学友会、県人会連合会、アジア祭、文連祭、クラブ活動及びボランティア活動等に対して、本年度も援助を実施する。

3）青々会賞授与

「母校の名声を高めた在学生の個人または団体」に対し青々会賞の授与を継続して行う。毎年11月3日の協議員会の席上で授与しているが、今年度の協議員会は書面議決のため授与方法等を三役会に一任する。

4）学友会執行部との交流

今年度の交流は新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止する。

13. 組織活性化

新型コロナウイルス感染症拡大防止策を講じながら、下記の事項を継続する。

1）大学とも連携を取り合いながら共同歩調で次の検討を進める。

・連合会・支部総会活性化支援

・硬式野球部 OB 会連携支援及びクラブ、ゼミ及び寮 OB 会の名簿等作成依頼時に際し支部総会参加への要請

2）個人情報保護に関する取組み

個人情報保護に十分意を持ちながら会員名簿管理の徹底に努める。

なお、各支部からの要請による支部会員名簿の配付事業は従来通り継続する。

3）連合会長・支部長会議

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため今年度の開催を中止する。

4）活性化に貢献した支部及び個人の表彰

新型コロナウイルス感染症拡大防止で令和２年３月以降、社会・経済活動の自粛により青々会活動も感染防止のため中止した。よって今年度の表彰関係は取りやめとする。

5）母校の硬式野球部、陸上競技部の部員を対象とした青々会スポーツ活動支援奨学金制度の募金活動を継続して行う。

14. 在校生応援活動

1）硬式野球部応援活動　　2）陸上競技部応援活動

15. 会員自主活動の協力 (会則第５条第４号関係事業)

1）自主活動の協力（会員及び支部役員からの問合せ等の対応）

2）クラブＯＢ会、ゼミＯＢ会、寮関係ＯＢ会

在学生から提出されるクラブ、ゼミ及び寮関係のＯＢ名簿により修正作業を行うとともに、会合開催の支援とし「名簿印字、宛名シール印字」などを行う。

16. 事務局関係 (会則第５条第４号関係事業)

コロナ禍での事業、会議体及び支部活動について、Ｗｅｂ会議の対応等デジタル化改革を検討する。以下の業務は継続する。

1）事業運営費の精査

会員増に伴い年々増加する事業運営費について精査し、事業実施に伴う経費の有効活用と事業効率化・経費の活用等について三役会、幹事会等の会議体で検討をする。

2）大学との連携強化

事務局と大学学生部と定期的に会合を実施し、青々会業務への理解と相互の協力体制の確立を図る。

3）会員移転先不明者追跡調査
年2回の会報並びに支部総会案内状送付のあて先不明での返送分は、年間約1,000件前後で推移している。引き続き返送されてきたあて先不明者について調査を実施し、正確な会員情報の把握に努める。

4）新会員（令和2年度卒の住所、就職先、ゼミ・クラブコード）のデータ入力。

5）個人情報保護法に則り、会員情報の取扱いを行う。

以上

令和３年度　収支予算

（自令和２年１０月１日～至令和３年９月３０日）

（単位：円）

科　　目	令和３年度 予　算　額	令和２年度 決　算　額	差　　異	摘　　要　（予算説明）
【収入の部】				
会費収入	34,090,000	35,548,000	△ 1,458,000	
当年度会費	34,090,000	35,170,000	△ 1,080,000	令和２年度青々会会費
過年度会費			0	
特定会費	0	378,000	△ 378,000	「新春の集い」は今年中止
業務委託料	1,000,000	1,000,000	0	令和2年4月～令和3年3月間の名簿管理委託料
受取利息	110,000	190,943	△ 80,943	基本財産定期預金利率減
寄付金収入	0	18,916	△ 18,916	
当期収入合計	35,200,000	36,757,859	△ 1,557,859	
前年度繰越金	29,549,672	27,091,951	2,457,721	
収入合計	64,749,672	63,849,810	899,862	
【支出の部】				
人件費	8,350,000	8,264,560	85,440	
給与	7,900,000	7,831,160	68,840	事務局員・パート・アルバイト
通勤手当	450,000	433,400	16,600	通勤定期代
退職金	0		0	
消耗品費	20,000	11,200	8,800	事務用品
印刷費	100,000	393,170	△ 293,170	長3封筒印刷他（前年のA4･海外用封筒･往復葉書印刷今年無し
通信費	350,000	308,695	41,305	電話・FAX、ビジネスフォンリース・会議資料郵送等
交通費	1,500,000	934,385	565,615	連合会、支部総会活動開始を３月頃目途に計上
賃借費	32,000	230,100	△ 198,100	タナック印字プリンターリース期間満了（年間リース料に）
会報費	11,600,000	11,514,934	85,066	
印刷費	2,500,000	2,471,782	28,218	会報116号（02年.10）・117号（03.07頃発行予定）
会報発送費	9,100,000	9,043,152	56,848	会報発送費６万部・海外12百部×２回（次年度より年1回）
奨学費	2,700,000	2,700,000	0	今年度は27名×10万
補助費	850,000	860,000	△ 10,000	青々会賞３名予定・学友会他クラブ4月活動開始目途に計上
援助費	6,500,000	5,364,440	1,135,560	連合会、支部総会開催時支援
支部援助費	6,000,000	5,014,440	985,560	支部総会活動開始を３月頃目途に計上（４０支部）
連合会援助費	500,000	350,000	150,000	連合会総会活動開始を３月頃目途に計上（１０連合会）
行事費	0	268,072	△ 268,072	興亜神社例祭令和2年11月3日関係者のみで挙行
会合費	850,000	1,967,602	△ 1,117,602	
総会費	350,000	0	350,000	令和３年６月開催予定
会合費	500,000	983,934	△ 483,934	ビジネスネットワーク・幹事会開催予定（新春の集い中止）
会議費	0	983,668	△ 983,668	11月3日ﾎｰﾑｶﾐﾝｸﾞ･ﾃﾞｲ今年度中止
保守費	1,650,000	1,340,400	309,600	ＨＰ新コンテンツ企画400千円計上
雑費	138,000	136,730	1,270	振込手数料、慶弔関係他
備品費	50,000	5,850	44,150	Ｗｅｂ会議に向けてカメラ等購入他
当期支出合計	34,690,000	34,300,138	389,862	
当期収支差額	510,000	2,457,721	1,947,721	
次年度繰越金	30,059,672	29,549,672	510,000	

（注記）　１．　△は、前年度決算額に対する当年度予算額の増・減（△）記号。

２．　経理規程第２５条に則り、事業部門の予算を流用することができる。